

長野日報

2019年（令和元年）12月4日水曜日

駒工生が台風 災害へ義援金

助っ人同好会と生徒会

駒ヶ根工業高校（駒ヶ根市）のボランティアクラブ「助っ人同好会」会員と生徒会役員
の計5人が3日、市役所を訪れ、台風19号の災害義援金として集めた8万6170円を日本赤十字社駒ヶ根市地区長の杉本幸治市長に手渡した。杉本市長は「被災地には息の長い支援が必要。募金に感謝したい」と述べた。



杉本幸治市長⑤に災害義援金を手渡す駒ヶ根工業高校の生徒たち

同好会は、ストラップの制作などのボランティア活動を通じて義援金を集めた。生徒会は、10月中旬にあった文化

祭で募金を受け付けた。同好会メンバーで1年の稲田爽太郎さん(15)は「被災した人たちの支えになろうと活動し、達成感がある」。生徒会長で3年の濱田千聖さん(17)は「文化祭での募金が、台風で被害に遭った方々の助けになればうれしい」と話した。

（松井崇）